

# 請願

## 採択されました

### 認可保育所保育料についての請願

請願者 十和田地区保育研究会 会長 太田功一  
紹介議員 堰野端展雄・江渡信貴

若い子育て世帯の負担軽減のため、認可保育所の保育料を軽減していただきたい。

### 認可保育所施設整備についての請願

請願者 十和田地区保育研究会 会長 太田功一  
紹介議員 堰野端展雄・江渡信貴

大規模災害に備える防災の観点からも、子供の安全を守るため、認可保育所施設整備を毎年実施していただきたい。

## 継続審査となりました

### 免税軽油制度の継続に関する請願

請願者 東北索道協会青森地区部会 会長 柳谷章二  
紹介議員 堰野端展雄

軽油取引税の課税免除措置は、県下索道事業者が使うスキーコース整備のためのゲレンデ整備車や人工降雪機に使う軽油も免税対象となっています。スキー場の経営維持のため、当該措置の継続を求める意見書を国及び関係機関に提出していただきたい。

### 所得税法第56条の廃止を求める請願

請願者 上十三民主商工会 婦人部 部長 貝塚幸子  
紹介議員 舩甚英文・畑山親弘・杉山道夫

所得税法第56条（事業から対価を受ける親族がある場合の必要経費の特例）を早期に廃止するよう国及び関係機関に意見書を提出していただきたい。

### 子ども・子育て新システムについての請願

請願者 十和田地区保育研究会 会長 太田功一  
紹介議員 堰野端展雄・江渡信貴

- ①子ども・子育て新システムについては、財源的な見通しが立たない中での移行は困難であり、今年度中の法案提出との方針を撤回すること。
  - ②保育制度の見直しに当たっては、保護者、保育現場等の意見を十分尊重し、慎重に検討すること。
  - ③来年度予算については、「安心子ども基金」の復活等、保育の充実に向けた地方の創意工夫が生かされる予算編成を検討すること。
- 以上3点について、国及び関係機関に対し意見書を提出していただきたい。

## 新たに提出されました

### 公的年金の改悪に反対する請願

請願者 全日本年金者組合上十三支部 執行委員長 飛内十四雄  
紹介議員 田中重光・野月一正

- ①10年前の措置をあたかも借金でもあるかのように見立てるのは不当であり、消滅時効に相当する措置をとるべきです。
  - ②特例措置分は2004年の法改正において、物価が上昇する状況の中で解消することとしており、この約束にも反します。
  - ③高齢者の生活実態を全く無視した暴挙です。この削減を行えば、消費はさらに冷え込みます。
  - ④年金のほとんどが地域で消費されることを考えれば、地域経済を縮小することになります。
- 以上4点について、国及び関係機関に対し意見書を提出していただきたい。

### 「こころの健康を守り推進する基本法（仮称）」の制定を求める請願

請願者 フリースクール青い森 理事長 下山洋雄  
紹介議員 小村初彦・堰野端展雄・江渡信貴

「こころの健康を守り推進する基本法（仮称）」の制定を求める意見書を国会及び政府関係行政機関に提出していただきたい。

### TPPへの参加を反対する請願

請願者 食と農を守る青森の会 神田健策  
紹介議員 舩甚英文・小村初彦

「TPPへの参加に向けた関係各国との協議に入る」とした方針を撤回し、TPP参加に向けた協議の中止を求める意見書を政府及び関係機関に提出していただきたい。

# 意見書

次の意見書を国及び関係省庁に提出しました。

◇認可保育所の耐震化に対する財政支援の拡充を求める意見書

## 議会を傍聴しませんか

### 平成24年第1回定例会（本会議）の延べ傍聴人数は31人

傍聴される方は、傍聴者入口にて受付し、傍聴券の交付を受けてください。なお、傍聴者の定員は45名で先着順となりますので、あらかじめご了承願います。

これまでは本館1階総合案内でも受付していましたが、これからは傍聴者入口のみでの受付となります。

## 第2回定例会の開催予定です。

- 6月 8日（金） 本会議（開会）
- 6月18日（月）～20日（水） 一般質問
- 6月22日（金） 本会議（閉会）

※ 日程は変更になる場合があります。  
詳しくは下記連絡先までお問い合わせください。

議会だより編集委員会  
委員長 桜田博幸  
副委員長 江渡信貴  
委員 小村初彦  
委員 堰野端展雄  
委員 今泉勝博  
委員 赤石継美  
委員 畑山親弘  
委員 野月一博

（文責 今泉勝博）  
当議会においても、国際情勢、政治、経済等いろいろな影響を受け、厳しさが伝わってきます。しかし、当議会で取り組みを進めて来ましたが、独自改革のさらなる前進と、当市議会が市民の皆様方にどうあるべきかを念頭に置き、議論を行い、よく理解をしていただけるように開かれたよい議会づくりを行っていく所存ですのでよろしくお願いたします。

## 編集後記

◇平成二十四年度の活動が始まりました。本年度は、昨年発生した東日本大震災の復興スタートの年と位置付けられますが、非常に厳しい幕開けとなりました。